



しかし逃げられなかった



見ての通り



彼女は
かつてないほど
落ち込んでいた



理由は永琳に
頼まれた「おつかい」

先日月に戦争を
仕掛けた月の仇敵
「純狐」が最近幻想郷で
目撃されているらしく
情報で得た純狐の
拠点の確認と動向を
調査せよと
命を受けたのだった



中からは妙な
波長は感じない…
帰ろっかな…

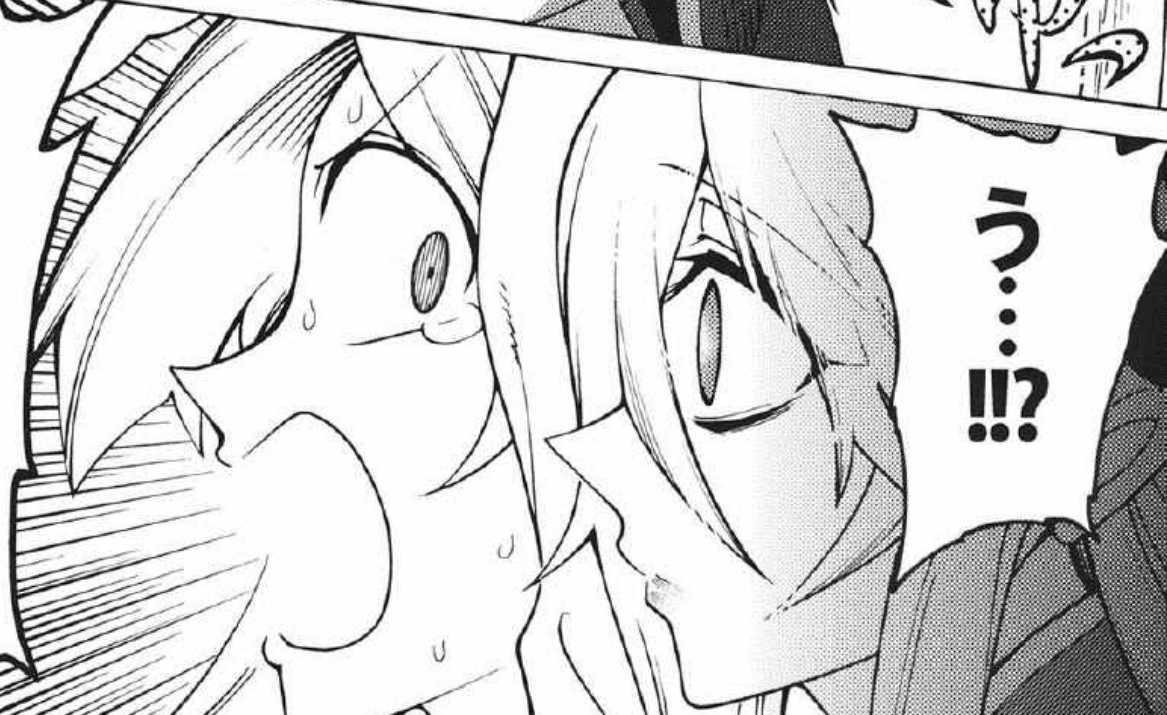


あつちまった…
千々海!



うわああああ
ああああああ!!!

う...!!?





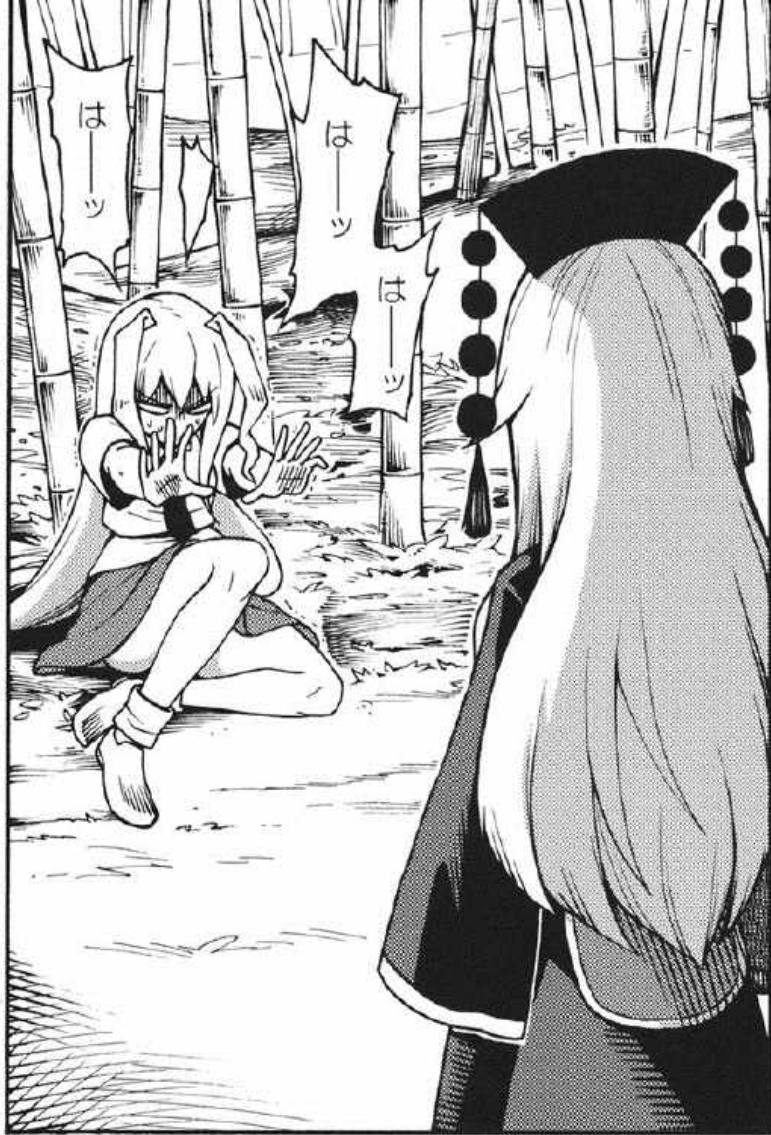
うどんちゃん
…だったかし
穢土玉兎

待つ…

ハアツ
はーッ

待つ…

はア
…



はーッ

はーッ

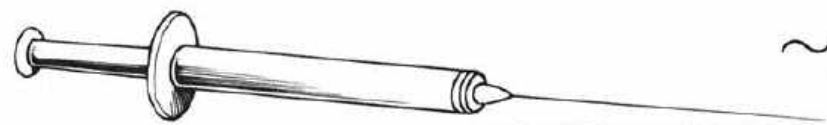
はーッ



フウ…

フウ…

～少女鎮静中～



ヤゴコロ製「なににでも効くやつ」



穢土流の
おもてなしを
してみるわ



それが
貴女なんて
嬉しいわ

お客様が
来たのは今日が
初めてよ

……
ソッスか
近レス



私の家に
遊びに来たの？

そ…うです

本当の事なんか
言えない…



きつたね……

!!? 嘘でしょ



確かにやりすぎて
ここで寝泊まり
出来なくなった

よ……
良かった……!!



穢土の作法を
研究してるの

このくらい
普通じゃない
の?

スゲエーや
その努力とやら
恐れ入りますッ!!
ですけど
やりすぎ



月の仇敵たる
この方が……
こんな無精して……

あ……
ありえない!!

こんなこと月の民や
師匠に知れたら……?

とにかくこの人は
あの方達に
相応しく無い……

私が
何とかしないと



～少女帰宅中～

～少女追跡中～





えっ!!
えっ!!



うどんげ…

師匠っ!



ちがッ…

この人が
勝手について
来たんですウ



今までの貴女の
失態は可愛いもの
だった…
なんでも許せたわ

なのに
まさか

まさか姫のいる
ここに狐を案内
するなんて驚いたわ

言い訳を
言って

早く



なるほど

確かに：
あなたの考えは
正しいわ

掃除してやつて

しかし
いくら必死だった
からって 追跡
されるとは…

まあ…あなたが
夢の世界で交わした
取り決めもあるか

じ…

こんな形で
会うとは
思わなかったけど

聞いて
ねえな

純狐さん
会合は
また後日に

? はい

とりあえず
この子に貴女の
拠点を掃除して
もらって頂戴

それと



それは
こっちの台詞



私のものを
壊したら
許さない





じゃあ
掃除してきますんで
そこで待ってて
くださいね

後ろ結い
かわいい

とーま



!? なんで
貴女はこんな所に
入っちゃダメなんですよ

外で!
待ってて!
ください!!



嫦娥!!! 見てるか!!!

月の兎に
私の世話を
してもらって
いるぞ!!!

こんなに
尽くしてくれる兎
お前の側には居ない
だろうなあ!!!

静かにしてて
もらえませんか!!!



終わりましたよー！

やり遂げたわ…！



うわっ!!
なんですか!?

…あとは
お風呂ですかね

お風呂入る神霊
なんて居ない

神霊に代謝が
無かるうが
ゴミ屋敷に出入り
してたらニオイ
ますよ…

やめて
やめて
やめて



月の仇敵として
相応しくなつて
もらいますからね!!!

？はい

いいですか！
今日は徹底的に
貴女の世話をします！

であ

戻り永遠亭

大浴場

只今
清掃中

ご自分で
洗えないんですか…

やったことない

穢土は居るだけで
土埃とかつきまますから
毎日入浴して下さいね

うどんちゃん
が洗ってくれる

んー
なんで
決定してる
かなー？

体も
洗うんでしょ？

それは
ご自分で
お願いします!?

…一回だけです
からね…洗い方
覚えて下さいよ

これからも
貴女が洗う

☆平行線…!



うわぁぁぁぁ



!!

すっぴん
綺麗……



いやいやいや
何見とれてんだ

あいつは
月の仇敵

おぞましい
復讐鬼……
っん……



おろろい
嫦娥ア!!!
見てたか今の!!!

今この兎
私の裸体に
見とれてたぞ

お前んとこ
蛙の姿に
見とれる月兎
って居るか!?

オイイイイ
今その発作は
やめろオ!!!

おい
常我



掃除の仕方とか：
お風呂の入り方
書いておきますから

それを参考に
今後は自活して
くださいな

…ていうか
地獄の女神様に
どなたか従者を
借りられないん
ですか？



…従者になるのは貴女

お…落ち着け…
意味がわからないことは
無視でいい…

これ渡して
さっさと帰って
もらおう…



出来ましたよ

これを持って
今日はもう
帰ってください

居ねえ!!

何処行った
あの爆弾!!



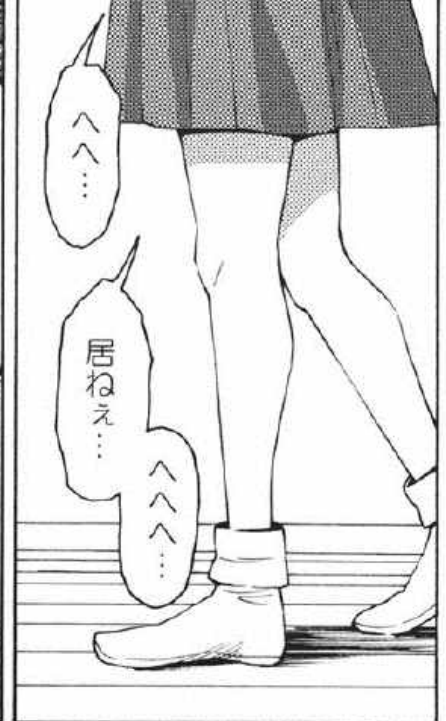


よりによって
あの怪物を屋敷に
解き放ちしまった
なんて…

殺される…
師匠に一回…
姫様にも一回…
てゐにも一回…

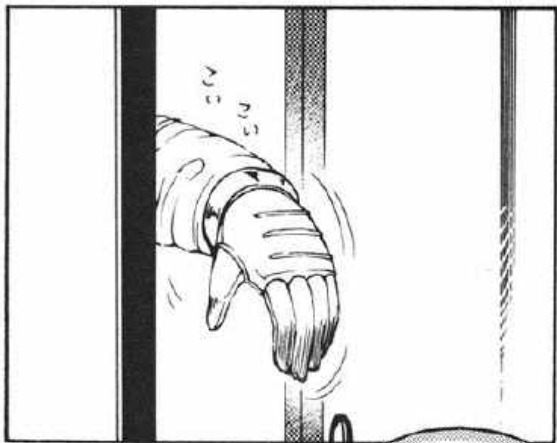
三回も
死ねるかな？
私…
自信ないや

待てよ…
自殺すれば
一回で
済む…？

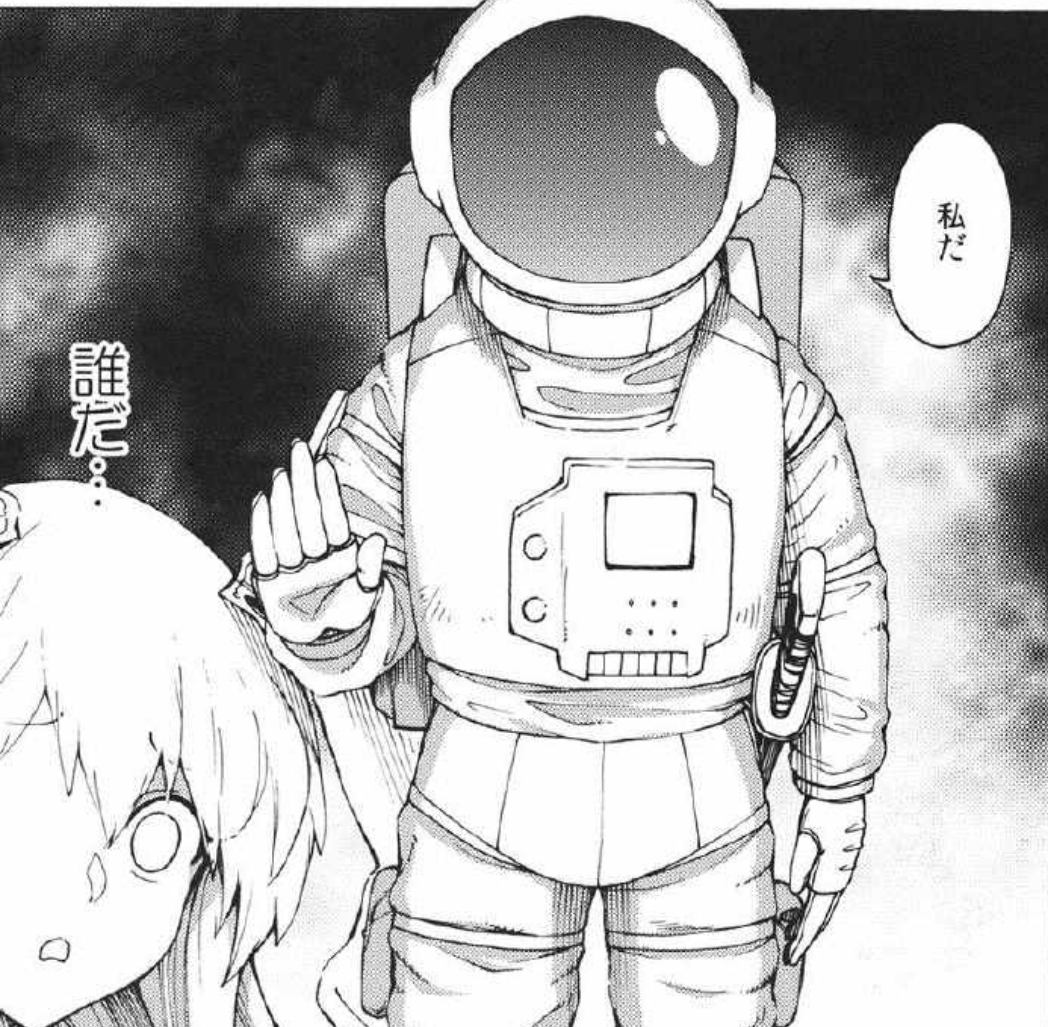


^^^

居ねえ…
^^^



レイセン



私だ

誰だ…



誰です…？



私だけではない

あッ

サグメ様!?

するつてえと…

宇宙服は
依姫様です

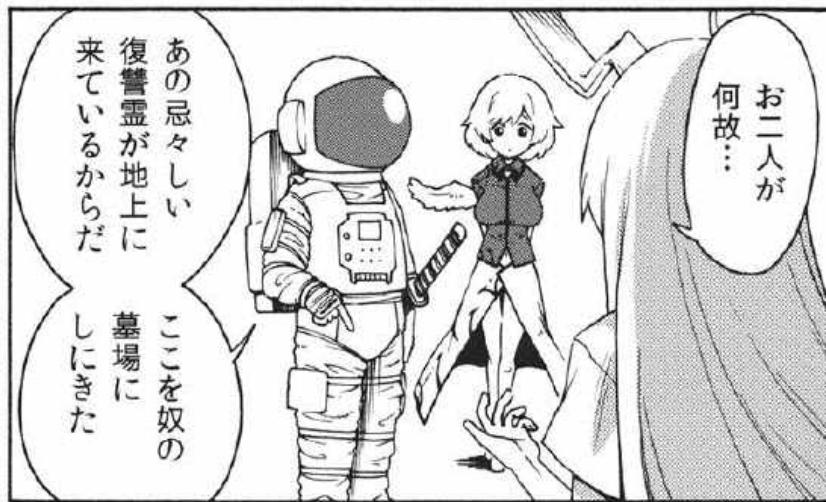
ああ、依姫様!!
やっぱり
そっでしたか!!

鬼ちゃん!!



機上では
呼吸出来ない。
臭すぎて。

あの…その
格好は…?



お二人が
何故…

あの忌々しい
復讐霊が地上に
来ているからだ

ここを私の
墓場に
しにきた

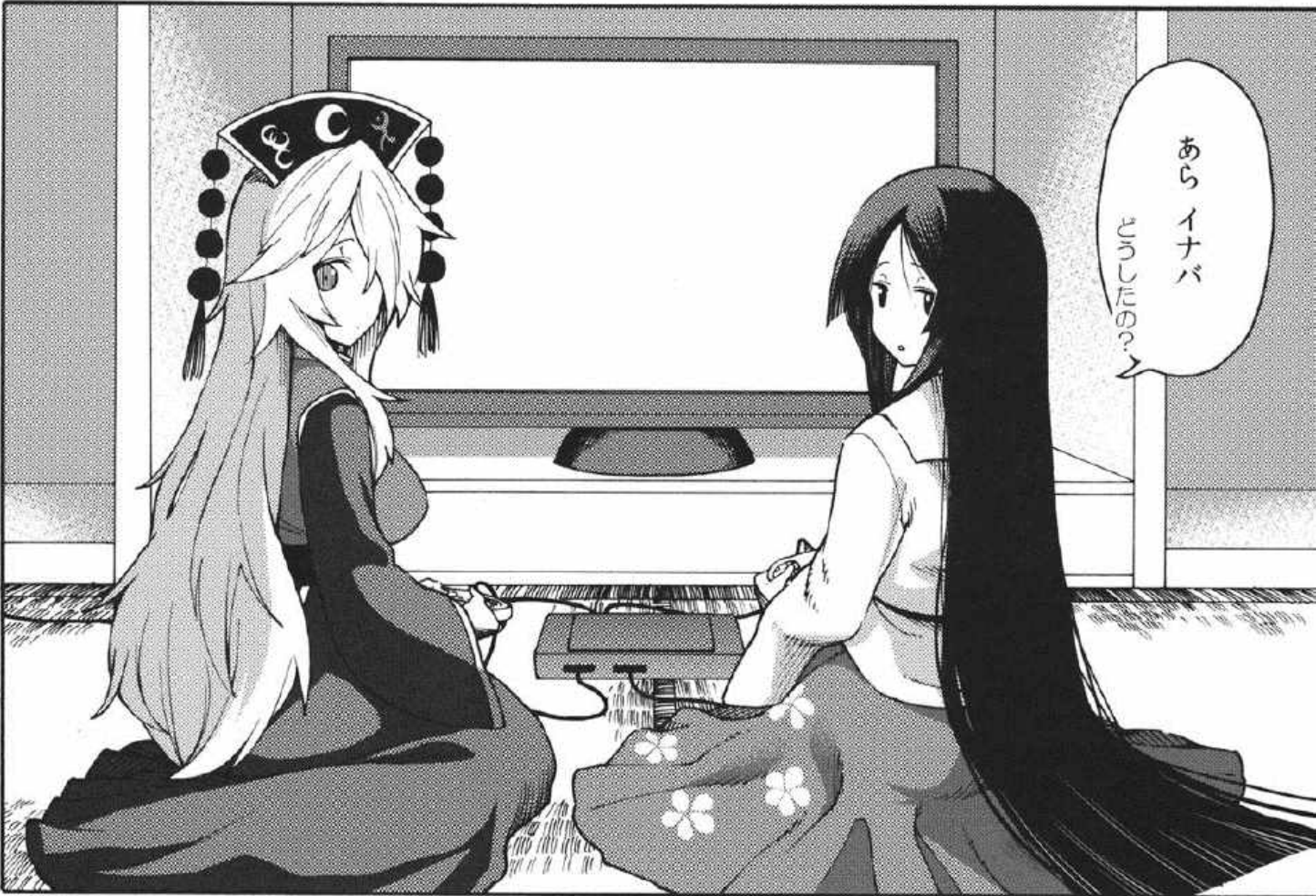
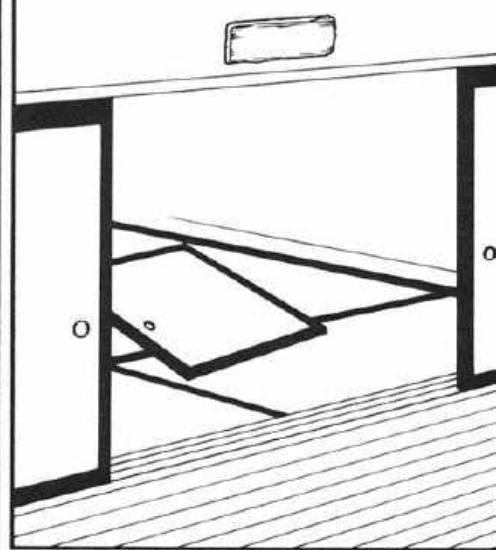


(酸素残量)
時間が無いから
早速本題に
入らせてもらおう

レイセン
どうやら今日は
あの復讐霊の
世話をしている
ようだな?

!





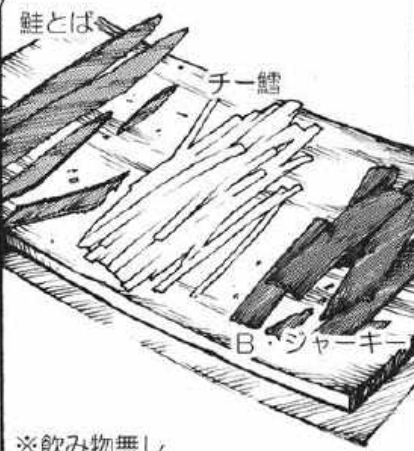


あんなこの前
月に戦争仕掛けた
んでしょ？
どうだった？

おたくの
月兔に
邪魔されました

またまた

おやつ



※飲み物無し



あんな
「目」で私を
睨むのに…
ですか？



また見てる



…何で姫様は
襲われない
んですかね？

遠からず因縁は
ありそうですが
…

業の塊みたいな奴
だけど…
郷には従えるの
かしらね？意外だわ



純狐じゃ相手に
ならないわ！
イナバ！
変わりなさい！

師匠お！

常我



じゃ輝夜を
よろしく

私が！
荷が勝ちます！

なんとか
なるでしょ



…今のところ
実害も出てない
みたいだし

目を瞑るわ







行きますよ
純狐さん!

何処へ?

姫から離れるんですよ!



わりと面白いんじゃないな...

流石お姫様
お見通しか



私になにか
してるんですか?

ツカ

ツカ



さつき姫の言ってた
「妙なことをするな」って
言うのが気になる
んですけど...



ペタペタするなって
怒られただけよ

こういう事を
やめろって
ことでしょ!!!

だれかつ...
誰かアア
—アアツ!!!



いや違う
私が捕ま
ってるん

よくやった
レイセン!!
そいつを
離すなッ!!!



依姫様!!!



殺
つ
た
!!!





押された…!!

あの一瞬

純狐さんが私を助けた…!?

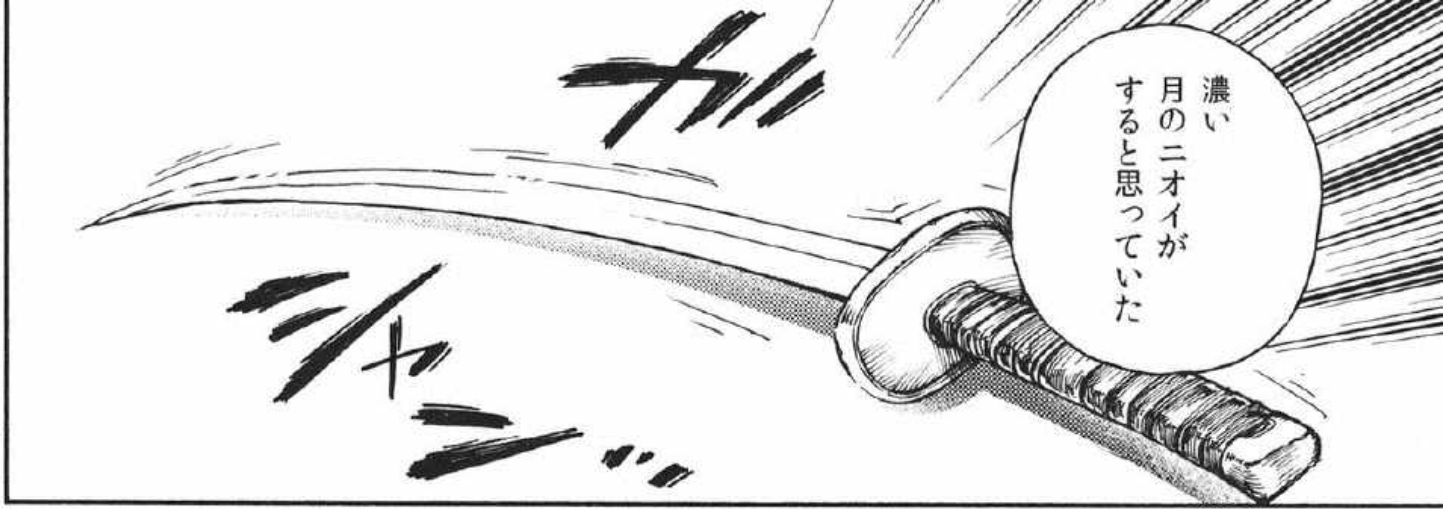
抜けない…!?

カチカチカチ



02





濃い
月のニオイが
すると思っていた



月の民は
本当…私を
イラつかせる
天才……



うどんちゃんまで
巻き込んでまで……

私が殺れれば
他はどうでも
いいってわけ？



いくぞサグメ…
貴様の能力は
地獄の女神に
取っておくように



まさか穢土で
……ここで
戦争する気？



今だ!!!
撃て
レイセン!!!



グエエエエエアアアア!!!



れ：
レイセン
貴様ア!!!



手元：
狂っ……

すみません

あの

あ……

あつ

サグメ! 獾の道を……

オエエツ!!!



はやく月への
道をツ……

くっさ!!!

刀拾っといで
オエエ!!!



ツ
オ
オ



!!!?



純狐さん！
離してあげて
ください！
何で

何…え…
な…泣いてる
から…？



サグメ様！?

ああ!?



嫦娥!!! 見ているか

騒がしいから
戻ってきて
みれば…

この月の民を
これから
辱めてやる!!!

あ…
何してるの
…？

これ落ちてた
嫦娥の依姫も
嫦娥!!! お前が出て
来るまでこの者は
死ぬより恥ずかしい
思いをすることになるん

すいません
師匠全然
聞こえ
ないです

んんんん

んんんん





ここで決着つけようと
考えるなんて
論外よ！

姫まで
巻き込んでたら
私だって
月を恨むわ

★こうなったら
ヤバかった……！



郷に入ったら
郷に従うべき
だったわね！

ここには
月のルールも因縁も
存在しないのよ！



うどんげの誤射の
お陰で、おにごこに
ならず済んで
よかったわ……



依姫にもキツク
言っておいてね

今日は
帰りなさい

純狐さんも
帰ってください！

何で

帰って欲しい
からですよ！

おい
覚えとけ



それでは
さようなら

待て待て
おーい

師匠
お



帰る前に
やること
あるでしょ

その子に掛けた
『純化』を解いて
いきなさい



私どうか
しちやってるん
ですか!?

依姫撃つたんでしょ?
どうかしちやってるのよ
あなたは

カゲヤもコイツも...
あなたの飼いまは
どうかしてるほど
鋭いわね

すいません
会話が滅茶苦茶で
どうかしそつです



今なんて?!

うどんげ あなた…

私の目に入る限り
今日ずっとそいつから
純化の力を
浴びていたのよ

!!?

『純化』
って…

ちなみに
今も
仕掛けてる

おい
やめろ

忘れたの？

あなたは
地上に堕ちた
月兔

先日月の遷都計画を
阻止する為
貴女は
躊躇わず月の民に
引き金を引いた
…その「倒錯性」

いや最早
それは
『狂気』か

また次
月を襲うときに
使えろと
目を付けられたのよ



まさかアジが…!

出来なかった



こんな顔するんだ

何故か純化が効かなかつたの

こんなこと初めて…



この人…



師匠！
私を検査
してください
……

……信用できませんよ

あ



この子を
これから
検査するから

はいはい

お客様は
帰って頂戴



貴女一体なんなの……？

もっと色々
試させて？
あなたへの興味が
尽きないわ！

お断りですよ!!!



あの……
手……

てえ!!!

……分かりました
今日は帰ります

純狐さん
手



安心して?
うどんちゃん...

私達は
似たもの同士!

きっと
「こっち」に
迎えてあげる
からね...?

明日も来ます

似てないです。
私あなたと
関わりたくないです。

一度と来ないで



当然
次の日も
来た

ガラ

<奥付>

発行：心あん亭

印刷：Power Print 様

原作：上海アリス幻楽団 様

無断転載：だめ

東方project FANBOOKS

ふあん亭 PRESENTS